

活動ノート



12月13日(土)

アカマツ林整備

除伐と地掻き

13:00~16:00

◆参加者: 松雪、榊、川上、中嶋、富永、林、鎌田、静間 計8名

◆内容: 朝から冷え込みの強い曇り空で、みぞれや小雪の舞うしぐれ気味の1日となりました。今日は2班に分かれての作業とし、1班がアカマツ林入口から階段を少し降りたところで日陰を作っていたクロキを除伐、2班がA地区東端部付近からD地区にかけて積もっていた落ち葉や腐葉土等の地掻きを行いました。クロキは、直径約15cm、高さ約8~10m程度の幹が二股に分かれて生育していたため、伐倒後の材処理に思った以上の時間がかかり、最終的には全員での処理作業になりました。一方、地掻きの方は、9月の作業で刈ったシダの、堅くて太い茎がいっぱい残っており、そのままでは地掻きがしにくいいため、最初に刈込バサミ等でこれらを根元から切り取りました。これまではカマや剪定ばさみを主に使って行っていましたが、今回用いた刈込バサミの方が効率的かつ楽に作業ができること



がわかりました。ただ、地表部にはアカマツが嫌う腐葉土が厚く形成されており、竹熊手でこれらを完全に除去することはできませんでした。やはり、地掻きは毎年継続して行う必要があることを実感させられました。現在、マツクイムシのため枯れつつある木も散見されることから、来年度はもう少し作業日を増やして整備を進めていければと思っています。

【ふりかえりより】

・落ち葉掻きで雪の中いいた汗をかいた。下からスミシなどが顔を出してきていて良かった。(中嶋)
・みんな頑張りきれいになりましたが、まだまだ人手が必要だと思いました。(鎌田)

12月21日(日)

カブトムシの森

除間伐、植生調査、納会

9:30~15:30

◆参加者: 鎌田、篠原、松雪、川上、榊、林、新地、吉田、松尾、国広(信・友)、阪下、丸山、和田、首藤、雪丸、吉田、岩尾、静間 計19名

◆内容: 道具準備、準備体操の後、小雪がちらつく中、カブトムシの森へ出発しました。途中キャンプ場で納会担当と別れ、本隊はC地区東屋に道具を搬入、ここで班分けをしました。C地区除間伐班は斜面のクヌギ1本とハゼノキなどの伐採、A地区間伐班はクヌギを1本伐採しました。足場が悪い上、濡れた落葉で滑りやすく大変でしたが、何とか怪我もなく



作業を行いました。クヌギは共に直径が20cmを超えていた上、伐倒方向が重心と一致していないのでロープ、クサビなどを使用しての慎重な作業となりました。作業前の安全確認の仕方の説明は出来たのですが、ロープ、クサビの使い方までは時間がなくて出来なかったため、次回に持ち越ししました。クヌギは既に葉が全て落ちていたので、枝処理まで行って、玉切りは特別活動ですことにしました。調査班は1時間ほどで作業を終えて、その後は落ち葉掻きをしました。昼からはキャンプ場で納会。まずはじっくり煮込んだ豚汁から。作業で冷えた体を温めたところで、焼きそば、焼き肉と堪能しました。最後に一年の振り返りをしてお開き。センターに戻って道具の手入れ、振り返りをして解散しました。



【ふりかえりより】

・今日は失敗しそうになりながらも、木をきる事ができてよかったです。(吉田)

・雪が降る寒空の中、皆様と楽しく作業ができ、しかも美味しい豚汁、ヤキソバ、焼き肉までごちそうさまでした。(国広)

1月18日(日)

アカマツ林整備と成木調査

9:30~15:30

◆参加者:松雪、榊、鎌田、山本、林、静間、岩尾、吉田、雪丸、川内、岩田(健・共)、中嶋、篠原 計14名

内容:新年最初の活動は、快晴のもと、アカマツ林での作業です。今日の作業は三班に分かれて行いました。一班はA地区での地掻き及び直径10cm以下のリョウブなどの除伐を、二班は老朽化が進みやや危険な状態になっているF地区のヤードを、すぐ下の斜面に移設整備する作業、三班は成木調査を行いました。地掻き班はA地区で作業を行いました。この地区では昨年11月にも地掻きを行っていたため、やりやすいと思いましたが、実際は、かなりハードな作業となりました。作業は、午後の早い段階で終了し、その後は遊歩道の山側に点在していた直径10cm以下のリョウ



ブなどの広葉樹を数本除伐するとともに、F地区での地掻きも行いました。一方ヤード整備班は、まず幅・奥行7~8m程度のヤードエリアを決め、その中に生えていた約10本程度のリョウブやネズミモチなどの広葉樹をすべて伐採し、その残材を用いて谷側及び両サイドの柵を構築しました。また、併せてヤード内に散乱していた過去の残材や今回発生した材の処理を行い、ほとんど目立たない形まで処理しました。この柵整備作業と併行して、土留めや盛土などのハードな土方作業により、遊歩道からヤードまでの安全な進入路を造成しました。このヤードは現在8割方の完成度ですが、これまでに整備したヤードの中では最も大きなもので、かなりの期間利用できるものと期待しています。成木調査班はこの地区のすべてのアカマツ成木(高さ1.3m以上)について、識別タグの張り替え、胸高直径計測、樹勢評価、写真撮影を行いました。

以上の三班による作業は予定通り2時40分頃にすべて終了し、その後現地振り返りや整理体操などをして、3時過ぎにはセンターに戻りました。今日の感想として、やはり地掻きは最低でも年末に1回、2月頃に1回は行った方が作業自体が楽で効率的なことを実感しました。また、ヤードについても、地形を利用してなるべく大きなものを、また現地での発生材を活用して構築するのが良いと思いました。最後に、今日体験参加された岩田さん親子が入会されることとなりました。これから森会の大きな戦力になりそうので楽しみにしております。

【ふりかえりより】

・落ち葉掻きですっきりした上、リョウブなども伐ったのでアカマツの林らしくなってきました。次は草刈り!(静間)

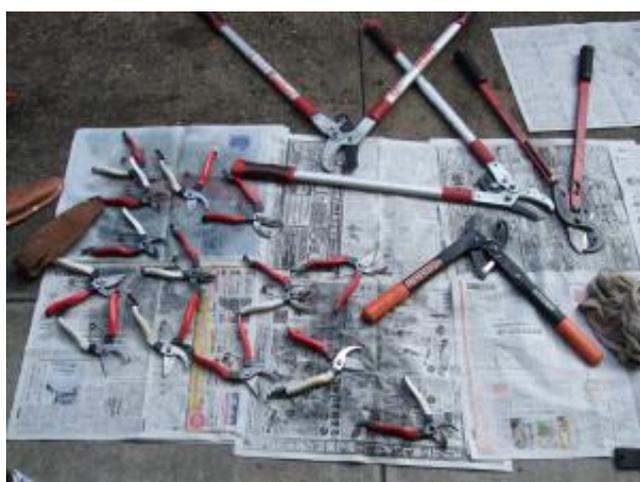
・すべての成木の胸高直径と識別タグの張り替えを完了できた。今後データを整理したい。(中嶋)

1月24日(土)

備品整備、アカマツ林幼木調査、落ち葉掻き

9:30~15:30

◆参加者:松雪、榊、林、岩田(健・共)、静間、岩尾、柴戸 計8名





◆**内容**：今日は、気温も作業に適したポカポカ陽気でした。午前中は備品整備とアカマツ幼木調査、午後からアカマツ林での落ち葉掻き等の作業を実施しました。備品整備は、刃物類のみ取り出して、その他の備品は倉庫内で点検を行いました。刃物類のうち、のこは普段使用する「造林のこ」、「なたのこ」、「万能のこ」について全て切れ具合を確認し、3点を使用不可にしました。剪定鋏、枝切鋏は、ヤニが付着していましたので、切れ味を良くするため、全てヤニ取りを行いました。又、中厚鎌は刃こぼれしていた2本を廃棄し残る12本を砥ぎ出しました。倉庫内での点検では、松葉掻き1本、竹熊手1本を破棄しました。また剪定鋏1本のスプリング消出と、ケース1ヶを補修対象としました。一方、アカマツ林幼木調査は次年度以降行う新たな幼木調査のため、F地区及びB地区内それぞれに2m×2mの方形区を2ヶ所ずつ計4区画設定・整備しました。F地区は日当たり条件による違いを検証するため、案内板近くの遊歩道沿いの場所に



日当たりの異なる2ヶ所を選んでシダの除去、地掻きの後、メジャーと丹頂杭を使い、方形区を設定しました。B地区では地掻き等の作業の有無による違いを検証するため、C地区との境界沿いの場所に2ヶ所を選定して作業を開始。一方は地掻きを行わず、もう一方は地掻きを行い区画を設定。次年度より今回設置した調査区画で幼木個体数などの調査を行うので、こういった結果が今後得られるかが楽しみです。午後は、B地区での落ち葉の地掻きと一部未完成だったF地区新ヤードの移築を行うこととし二班に分かれて作業に取り掛かりました。地掻き班は、B地区の落ち葉掻きを中心に行いました。除伐等によって陽当たりが良くなった地区では、フデリンドウが群落状に芽を出しつつあるため、竹熊手を用いないで手掻きによる落ち葉掻きを行いました。続いて、A地区の斜面端部に残っていた径10cm程度の広葉樹やヤブムラサキなどの除伐を行いました。これでヤマザクラなどを残してA地区での除伐はほぼ終了しました。ただ、今日までの作業でB地区の材処理ヤードが満杯になり、今後ヤードの嵩上げが必要となりました。一方、ヤード班は、先週の作業で残った外枠となる柵の整備を行いました。このヤードの整備に際しては、進入路の階段を除き、基本的には現地の立ち木や発生材を有効利用することとしているので、まず、ヤード内・近辺の除伐を行い、その残材を使って柵作りをしました。今日の作業で、幅・奥行7~8m程度のこれまでに最も大きいヤードがほぼ完成し、今後は心置きなく除伐

や地掻きを行うことができるようになりました。以上の二班による作業は、けが等も無く予定通り2時40分頃にすべて終了しました。今後は、C~F地区の遊歩道谷側にシダがかなり繁茂しつつあるので、まずはシダを中心とした草刈りを春前に行う必要があると考えています。また、これらの斜面に生育している大きな常緑樹の除伐も計画的に行っていく予定です。

【ふりかえりより】

- ・ノコと剪定バサミのヤニ取り&油ひきでこれからはもっと良く切れるだろう。カマ砥ぎもやりました。(榊)
- ・幼木調査用の区画を4ヶ所作りましたが、地掻きで大変疲れました。(松雪)

2月8日(日)

活動説明会

シイタケのコマ打ち体験

9:30~15:30

◆**参加者**：静間、富永、林、榊、川上、鎌田、中島、松雪、岩田(健・共)、松下、新地、山本、和田 計14名

◆**内容**：朝からの小雨は次第に止みましたが、とにかく寒さが厳しい一日でした。4組13名(申込み31名)の参加者を迎え活動説明会を行いました。ネイチャーゲーム「はじめまして」で、まずは寒さと緊張を吹き飛ばしました。ほどよく緊張がとれたら、一昨年





コマ打ちした榎木でシイタケ狩り。一般参加者の中には、榎木から生えているシイタケを見るのが初めてという方もおり、わいわいと籠いっばいシイタケを狩っていました。カブ森に着いたところでC地区の落葉掻きを始めます。幹線道路側の法面を中心にざくざく掻いていきました。雨後で滑りやすい状況でしたが、お子様たちが大活躍、予想以上にはかどりました。暫くしてから2家族ずつC地区東側のヤブツバキで除伐体験してもらいました。1組の家族は昼食の時間になってもお子様がどうしても最後までやりきりたいということで居残り除伐となりましたが、見事に伐倒出来て満足されていました。昼食は交歓広場で、コマ打ち班の方々が火を熾していたかまどを囲んでとりました。今回は皆さんが持込んだ食材が多彩で、魚の干物丸々一尾を焼かれる方や、リンゴの丸焼きも登場。朝採ったシイタ

ケも美味しくいただきました。昼食後はシイタケ栽培の説明を聞いたうえで、コマ打ち体験の開始です。榎木にドリルで穴を開けて、種コマを打ち込んでいきます。最後に最近入会した会員から森会の楽しさを語ってもらい活動を終了しました。アンケートでは、活動お知らせメールを受信希望された方が1組おられ、入会につながってくれたらいいなと思っています。

【ふりかえりより】

- 雨が降らなくて、無事シイタケのコマ打ちが出来て良かったです。(富永)
- 寒い中、落ち葉掻き、焚火、コマ打ちを楽しんで頂きました。(鎌田)

2月22日(日)

カブ森除伐、萌芽枝除去、落ち葉掻き

9:30~15:30

◆参加者：中嶋、榊、林、川上、鎌田、国広、岩田(健・共)、首藤、丸山、吉田、雪丸、静間 計13名

◆内容：天気が雨模様でしたが、出発段階では上がっていたので予定通り準備をして休憩小屋へ向かいました。丁度到着した頃から雨が降り出し、30分程たって上がったところで、活動開始。直



径30cmのタブノキの伐採は、斜面での作業の上、伐倒方向側に重心がかかっていたので、受け口作りに悪戦苦闘でした。伐採、後処理には若い力が大活躍でした。他の人は午前中植生調査区域周辺の落ち葉掻きをしました。体験参加の鈴木さんが頑張ってくれました。休憩小屋近くのヤブツバキ、アラカシの小木も伐採しました。午後は萌芽枝、実生木などの除去にあたりました。全ての作業は14時20分には終了、道具の確認・クールダウンをしてセンターに戻りました。道具整備、振り返りをして15時半に解散。

【ふりかえりより】

- 最初は雨でできるか心配だったけど、無事大木をきる事ができたのでよかったです。(吉田)
- 伐倒の安全は確保できていたと思いますが、枝払い時の近接作業の安全が徹底不足で反省しております。(岩田)

